

平成 24 年度 独立行政法人環境再生保全機構 地球環境基金委託事業  
東日本大震災に伴う洋上漂流物に係る日米 NGO 連携推進・調査及び国内への情報発信事業

### オレゴン州 現地調査等の主な成果

#### 1. 海岸調査

- オレゴン州の 3 海岸において震災起因漂着物の状況の確認を行い、1 海岸で回収活動を実施した。また現実的・円滑な海岸清掃実施のために必要な情報等を収集した。
- 3 海岸いずれも漂着物はほとんどなく、微小プラスチックが一部に見られる程度であった。背後地との境界にも破片等の漂着物がないことから、通常から漂着量は少ないと推察される。
- Chinook Winds Resort Beach (Lincoln City) は、海岸近くに宿泊施設はあるものの冬季は荒天が続き、回収活動は難航することを想定しておく必要があり、夏季は宿泊料は高額になる。
- Gleneden Beach (Lincoln Beach) は、Chinook Winds Resort Hotel から車で約 20 分。駐車スペースは乗用車 10 台程度であり、トイレはないが海岸へのアクセスは容易である。この付近の海岸の中では比較的多く漂着物がある海岸とされている。
- Nye Beach (Newport) は、Chinook Winds Resort Hotel から車で約 45 分。駐車場、トイレがある。周辺は住宅・別荘地であり、平時から利用者も多い。
- オレゴン州の ICC コーディネーターは、Oregon Beach Cleanup を主催する SOLVE で、各地方行政との連携体制は構築している。漂着物通報システム以外にも、各海岸にモニタリング員を配置している。大量漂着に備えて緊急クリーンアップの訓練も実施しており、地域での大量漂着初期への対応準備は整っていると判断される。また大量漂着があった場合、SOLVE はその初期対応に追われることから、日本からのボランティア受入れの対応は難しい。日本からの回収活動には、年 2 回の定期清掃 (Oregon Beach Cleanup) に参加するのが現実的である。

#### 2. 地元日系団体等との情報共有ミーティング及びワークショップ

- オレゴン州では、日頃からの日系団体間の情報共有や連絡体制が整っており、従前から地元 NGO と連携した清掃活動などの実績がある。州知事のタスクフォースにも日系団体や NGO が参加しており、米国他州に比べ、対応体制が整っていることから、今後これまでに構築された日系団体と SOLVE の連携関係に JEAN を加え、情報共有を強化していくことが確認された。

- オレゴン州の PARKS AND RECREATION DEPARTMENT では、5名のビーチレンジャーが海岸のパトロール、集積場所からのゴミ回収、ごみのデータ収集を行っており、それらの情報は SOLVE などと共有されている。
- ワシントン州、オレゴン州、カリフォルニア州では州知事のアライアンスを作って各地での経験が他地域に活かせるよう、州レベル及び環境NGOとの連携も行っている。
- ワークショップ参加者からは、日米は太平洋を挟んで互いに繋がっていることを実感し、漂着物問題だけではなく、日本での被災地支援活動への協力や連携した活動を行いたいなどの声が寄せられた。

以上